

平成 26 年 7 月 3 日
日本原子力発電株式会社

田中委員長の発言に関する事実関係について

昨日の原子力規制委員会の定例記者会見において、評価会合への専門家の出席に関し、田中委員長から「電中研の方が原電サイドに座って発言されていたので、そういう立場でやればいい」との発言がありました。

また、6月25日の定例会見においても「原電側の方に座ってやって頂ければいい」と発言されています。

これに関する事実関係は以下の通りです。

1. 6月21日の評価会合において、当社が出席を求めていたのは、まさに、昨日、田中委員長がおっしゃられた形での専門家の出席でありました。それは、当社が6月20日に原子力規制庁に提出した座席表でも明白です。(別紙)
2. 当社が出席をお願いした二人の専門家は、まさに、当社の調査結果について、第3者的立場からレビューをして頂き、見解を明らかにして頂いた専門家として出席しようとしていたものであります。しかしながら、21日の評価会合においては、それを拒否されたものであり、当日の原子力規制庁側の対応は、当社として理解できません。
3. なお、当社として、田中委員長がおっしゃるような、評価会合を評価するための専門家として、先の二人の専門家の出席を原子力規制庁に求めたことは一度もありません。

以 上

